

3学年通信

2020年(令和2年)
10月16日 第3学年
学年通信NO. 12
福山市立城東中学校
学年主任 上谷 愛

行事を行事で終わらせない! ホンモノの力に!

「行事って何のためにあるのだろうか?誰のためにあるのだろうか?」そんなことを考えたことがありますか。第1回実行委員会で、まず行ったブレイン・ストーミング。自分のため、みんなのため、楽しむため、成長するため…。たくさんの意見が出ました。それらはどれも正解で、そこから「感謝」というテーマに決まりました。行事を終えた今の自分と、行事までの自分の姿を比べてみてどうですか。みなさんもよく分かっていること「行事でつけた力をこれからに生かす」ここにこそ、行事をする本当の意味があるのではないかと思います。「感謝」を表現するためにどの団もさまざまなことに挑戦し、工夫し、協力し、創り上げました。きっとそれは、これからも同じです。『時を守り、場を清め、礼を正す』のもと、「感謝」を表し続けていきましょう。

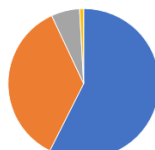
城東祭は充実していました



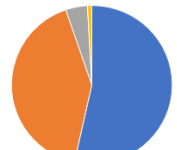
団体のきまりを守ることができました



仲間のために貢献することができました



城東祭で何事にも挑戦し、粘り強く取り組むことができました



100m走で1位をとるために、9月から走る練習をしてきました。でも、結果は最下位でとても悔しかったです。テントに帰ると、仲間が励ましてくれたので、気持ちが楽になりました。100m走のとき、こげそうになっても最後まであきらめず走っていた仲間の姿がとてもすごいと思いました。自分も見習おうと思いました。城東祭や全体練習などを通して、時間を守る力がつきました。学校にも遅刻をしなくなったので、この調子でがんばりたいです。今は本当にやってよかったなと思っています。



今回の最初で最後の城東祭では、リーダーや団長たち、他にもがんばっている人を見て、私自身も「協力しよう」とやる気を出すことができた行事になりました。私はこういう「みんなで一致団結しよう!」みたいなのと、体育大会っぽい行事が苦手で、今まであまり好きではありませんでした。けど、クラスメイトである団長が忙しそうにしている所、リーダーで集まっている所を見ると、「何でそんなにがんばってられるんだろう。疲れないのかな〜」と思ってきて、自分もやらないといけないという気持ちになってきました。始め朝練に参加していなかった自分に、リーダー全員が「明日は絶対に来いよ!」と言ってくれたので、次の日から朝練に行くようになりました。朝練が終わった後は、結構達成感を得られました。

城東祭の取り組みを通して

個々の努力や仲間との協力など
行事を通して様々なことを感じ
心身ともに健康な生徒に成長し
ていってほしいと思っています



保護者のみなさまへ

城東祭2020の開催にあたり、例年とは異なる日程、内容、制限などがある中、たくさんのご理解・ご協力をいただきありがとうございました。城東祭2020の取り組みを通して、どの生徒にも、たくさんの学びがあったことと思います。頼もしい最高学年の姿で、一人ひとりが輝いていました。この姿から、自分の進路とも真剣に向き合っていくことができると思えました。これからも一人ひとりの進路実現に向けて、教員一同尽力していきます。ご家庭でのサポートも、引き続きよろしくお願い致します。

お知らせ

- 10月20日(火)
一斉研修のため、お弁当が必要です。
- 11月 2日(月)
第3回実力テストがあります。
1日で5教科のテストを実施します。
範囲は右の通りです。
入試本番のつもりで、臨みましょう！
～練習は本番のように 本番は練習のように～

教科	範囲
国語	・文学的文章の読解 ・説明的文章の読解 ・漢字の読み書き ・短歌の鑑賞 ・語句の知識
社会	・地理総合 ・歴史総合 ・人間の尊重と日本国憲法 ・現代の民主政治
数学	・1・2年の復習 ・式の計算 ・平方根 ・2次方程式 ・関数 $y=ax^2$ ※コンパスと定規が必要
理科	・1・2年の復習 ・力と運動 ・仕事とエネルギー
英語	・1・2年の復習 ・受け身 ・現在完了 ・不定詞 (be glad to ~ / It ~ (for -) to ... / S+V(+O)+how to ~) ・文の種類と文型 (S+V+O+C) ※リスニングあり



この城東祭はとてもいいものでした。楽しかったし、仲間との絆も深まったと思います。確かに1位にはなりたかったけど、1位よりも大切なものを手に入れたので満足です。新型コロナウイルスの影響で、いろんなことがなくなったけど、城東祭ができて、その城東祭でついた力も全てリーダー、団長、先生方のおかげです。本当にありがとうございました。もうこのメンバーで受験を除く大きな行事をすることは無いと思うと悲しいけど、残りの時間を大切にします。



僕は城東祭を通してさまざまなことを思ったり、頑張ったり、仲間の良いところを見つけたり、力がついたりしました。逆に、反省するべきこともたくさんありました。始めダンスをやったときは「できないけれど頑張ろう」という気持ちが大きくありました。朝練は全て出ることができ、午後練は出れるときは確実に出来ました。しかし、何度も何度も同じことをして「やりたくないな」と思うことがありました。「もうできているのに、なんでやらなきゃいけないのか」と思うことがありました。でも、僕たちが午後練を終えた後、団長やリーダーが残ってダンスをしたり、反省をし、どうやって改善していくかを考えたりしている姿を見ると、「僕はまだまだだな、もっとがんばらなきゃ」と思いました。団長やリーダーは僕たち以上にがんばっていて疲れているのにも関わらず、みんなをまとめたり、注意したり、大きな声を出して教えたり…。絶対に成功させたいと思いました。僕はこの経験から、表としても裏としてもずっとがんばっている人たちがいることを知り、そこからがんばる力を身につけることができました。



城東祭へ向けての練習をして、本番当日の出来事はこの紙にぜんぜん入りきれないほどの思い出になりました。そして、感じたことは団長やリーダーの人達のがんばりです。毎日朝早くに来て、午後は自分たちのために残ってくれていて、このしんどさは、自分を含めやっていない人にも伝わってくるほどでした。本当に、団長やリーダーのみなさん、ありがとうございました。リーダーや団長だけでなく、クラスのみんなも協力してがんばっていてすごいと思いました。本番では、これまでの努力を十分に発揮できました。結果は悔しいものだったけど、悔いなんて残らない、最高の城東祭になりました。最後に、ここまで支えてくれた家族、クラスメイト、リーダー、先生、そして、団長！「ありがとうございました！」

